

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	東京都立東部療育センター		
○保護者評価実施期間	2026年3月4日		～ 2026年3月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画は個別性を踏まえ、計画・実施している	日々のケアや活動を通じて、利用者の微細な変化も読み取りながら、意思の把握に務めている	多職種がそれぞれの専門性を活かし、個別支援課題を達成できるように取り組んでいく
2	健康面、生活面、運動面を踏まえ、個別性に配慮した活動をしている	それぞれの発達段階に合わせて運動感覚遊び、リズム遊び、感触遊びなど親子で楽しむ工夫をしている	定期的に担当者間で情報共有し、更なる支援の充実を図る
3	定期的に活動概要や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信している	広報紙やメールマガジンなどによる情報発信の他、福祉サービス第三者評価結果をホームページに公表している	継続して敷地内掲示板へ広報紙の掲示をおこない、地域にも発信していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	乳幼児通所の登録者数が減少傾向にある	親子支援の場としての役割や価値が利用者・保護者に伝わりにくい	事業所の特徴や強みを、よりわかりやすく情報発信していく
2	地域と交流する機会がない	保育所などとの交流がなく、また外出する機会も減っている	近隣への散歩などを計画し、地域と交流する機会を検討する
3	家族に対して家族支援プログラムの提供や家族などが参加できる研修の機会がない	少人数の通所のため、改めて家族に対してプログラムや研修を提供していない	専門職が所属する事業所の強みを活かし、家族の不安に対応できるような情報提供などをおこなっていく